

平成 26 年度公共施設再編計画市民ワークショップの開催結果について

1. 市民ワークショップの開催概要

(1) 目的

- ・公共施設再編の概念や取組を、再編シミュレーションを通して体感的に把握することにより、参加した市民の皆さんとの認識の共有化を図ります。
- ・公共施設の再編を進めるにあたり、市民目線での問題点、サービス向上に向けて望むこと、利害調整のポイントを把握することで、実行性のある再編計画策定につなげます。

(2) 日時

平成 26 年 6 月 21 日（土）13:30～17:00

平成 26 年 6 月 28 日（土）13:30～17:00

(3) 場所

市役所第 3 分庁舎 1 階 講堂

(4) 参加者（2 日間同一参加者）

1 日目 33 人 男 21 人・女 12 人、無作為 13 人・公募 20 人
30 代 2 人、40 代 8 人、50 代 4 人、60 代 8 人、70 代 11 人

2 日目 29 人 男 18 人・女 11 人、無作為 10 人・公募 19 人

※ 無作為：無作為で抽出した市民 1,000 人を対象に通知をし、参加者を募集

公募：ホームページや広報誌で周知し募集

2. 市民ワークショップの開催結果

前回（平成 26 年 2 月開催）の市民ワークショップでは、対象地域を大船駅周辺に限定し、公共施設再編シミュレーションを行いました。今回は、市域を大きく 3 つのエリアに分け、エリアごとの特徴などを踏まえた公共施設再編シミュレーションを行いました。

(1) 公共施設再編の取組の報告

鎌倉市の公共施設更新問題の現状と、公共施設再編の取組経緯、「公共施設再編計画基本方針」の概要を報告しました。

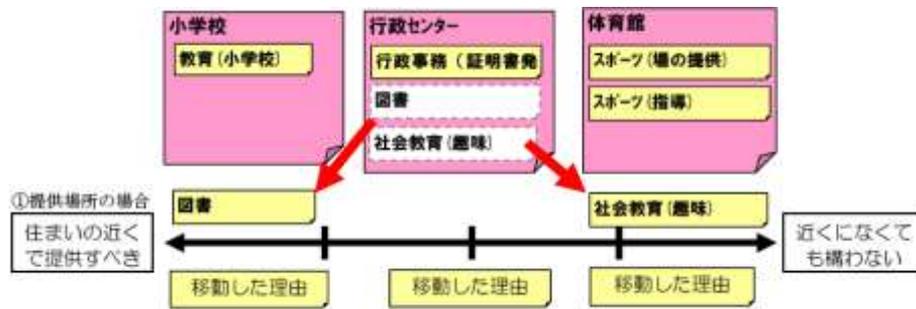
(2) 先進事例の紹介「発想転換の公共施設再編」

鎌倉市公共施設再編計画策定委員会委員である南学氏から、先進事例の紹介をしていただきました。



(3) サービスと施設について考える

3つの地域（鎌倉・腰越・深沢、大船・玉縄）に分かれて6つの班（各班約6名）で意見交換を行い、鎌倉市の公共施設について、施設（建物）とサービス（機能）を切り離し、①場所、②費用負担の2つの視点で評価しました。



評価の方法



検討の様子



検討結果の例（6班）

(4) 再編シミュレーション

① 検討の前提条件

市域を鎌倉エリア、腰越・深沢エリア、大船・玉縄エリアの3エリアに分け、各エリア2グループ（計6グループ）で2日間にわたり検討を行いました。

検討のルールは、公共施設を施設カードとサービスカードに置き換えて、カードを移動しながら再編を検討し、トータルコストをポイントに見立てて削減する内容で行いました。

再編シミュレーションで適用できる手法は次の4つとし、検討の最後に、独自または拡充したいサービスを1つ追加ができる時間を設けました。

【再編シミュレーションの検討ルール】

役割	割り当てられた立場（学生、独身会社員、子育て夫婦、夫婦、老夫婦、単身高齢者）で意見交換
設定時期	約20年後（少子化で各校3教室分の空きが発生する想定）
検討条件	各施設のトータルコストをポイントに置き換え、施設とサービスのトータルコストを削減する
検討する再編手法	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスの廃止 ・サービスを移動し、サービス提供を行わない施設の廃止 ・廃止した施設の土地の売却 ・サービスの民営化・料金改定

【ポイントの設定】

	鎌倉エリア	腰越・深沢エリア	大船・玉縄エリア	合計
施設に係るポイント	3,170	3,620	3,180	9,970
サービスに係るポイント	2,210	1,640	2,160	6,010
合計	5,380	5,260	5,340	15,980

※目標は、施設に係るポイント9,970の50%削減

【検討エリア】



②各班の再編提案の概要

	班	コンセプト	再編の考え方	主な再編提案	削減ポイント
鎌倉地域	1	減らせばよいつてもんじゃない	<ul style="list-style-type: none"> ・お年寄り、子供たちが交流できるまち ・自然を大事にしたまち ・若い人たちが来たくなるまち ・文化を伝えられるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て、教育、高齢者施設は集約 ・スポーツ、文化施設は民間委託 	610/3170
	2	資産はスリムに付加価値サービスは民間活用	<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺用地を民間利用で有効活用(表駅には拠点整備、旧警察用地も活用) ・寄付された文化施設は、収益施設化 ・学校の多機能化 ・県、国、民間の空き施設を活用する(特に市役所) 	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所は県施設や民間ビルへ機能を分散 ・保育、高齢者施設は集約 ・図書館は各学校へ分散し、民間委託 ・スポーツ、文化施設は民間委託 ・消防施設は学校へ集約 ・窓口サービスや地域活動支援は民間委託 	2800/3170
腰越・深沢地域	3	学校へ行こう全てのサービスがあります	<ul style="list-style-type: none"> ・学校へ教育保育サービスを集約 ・学校のプールはもったいない(使用頻度が低い) ・趣味サービスは民間委託でサービスアップ 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政センターの統合、サービスは駅やコンビニへ移動 ・小学校、学童保育、保育、子どもの遊び場は同じ施設に集約 ・学校プール(授業も)は廃止、民間施設を利用 	2100/3620
	4	CO-WORKするフレンドシティ鎌倉	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なところに多目的施設を分散 ・安心、安全なまちづくり ・行政と民間の協同作業 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園と高齢者施設は、機能を統合 ・子ども会館は空き家を利用して、機能を地域に点在 ・市営住宅は民間委託して、家賃を支援 	1390/3620
大船・玉縄地域	5	サービスの集約化	<ul style="list-style-type: none"> ・施設サービスは集約化 ・代わりに空き家、バス、ITクラウドでネットワーク化 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政センターの統合、サービスは人の多い施設へ機械を設置 ・子ども会館は学校開放して、廃止 ・武道館と体育館の統合、消防も統合 ・交流施設は空き家を利用して、民間委託 ・市営住宅は民間委託して、空き家を活用 ・学校プールは廃止、民間施設を利用 	2280/3180
	6	ミニバスによる活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・機能の集約 ・施設の分散 ・民営化 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政センターの統合 ・学習の機会や場所の提供、スポーツは民間委託 ・市営住宅は売却または民間施設を活用 	910/3180

1班（鎌倉地域）の再編提案



2班（鎌倉地域）の再編提案



1班 コンセプト 『サービスがよい。2月のびびり』

再編の考え方
 ・以前より、子供たちが交流できる場
 ・施設と大審判のまち
 ・若い人も来ることができるよう

施設
 カード
 理由

サービス
 カード
 理由

売却
 理由

利用料金改定・民間委託
 カード
 理由

サービス向上
 (備考らしき)

1日目								
2日目		1,310		1,210	220			
合計						1,530	5,380	

2班 コンセプト 『資産はスリムに。幼稚園加価値サービスは市内活用。』

再編の考え方
 ・駅周辺利用地を、民内利用で有効活用(改装には熱心準備 旧警署用地活用)
 ・高付きたま文化施設が、収益施設化。・50%の削減
 ・基 層 日 内 の 空 間 施 設 を 活 用 す る (料 金 統 廃) ・国 電 線 日 本 化 分 散

施設
 カード
 理由

サービス
 カード
 理由

売却
 理由

利用料金改定・民間委託
 カード
 理由

サービス向上
 (備考らしき)

1日目								
2日目		1,600	1,310		40	1,310	930	410
合計						2,800	1,380	-200

3班（腰越・深沢地域）の再編提案



4班（腰越・深沢地域）の再編提案



3班 コンセプト『 学校へ行こう! 全てのサービスが利用。』

再編の考え方 ● 学校へサービスも無料! ● 教育(アト)は使用の度だけ使いたい。 ● 趣味サービス、民間委託サービスUP

サービス向上 (顧客らしさ)	削減				利用料金改定・民間委託		サービス向上 (顧客らしさ)
	施設		サービス		カード	理由	
	カード	理由	カード	理由			
カード	理由	理由	理由	理由	理由	理由	理由
1日誌							
2日誌	1,500	2,500	1,800	2,000	1,600	2,000	200
合計					2,000	2,000	1,200

4班 コンセプト『 CO-WORK 様 フレンドリーな練習』

再編の考え方 ● 自由なサービスに利用の自由度 ● サービス向上を目指す ● 行政と民間の協働作業

サービス向上 (顧客らしさ)	削減				利用料金改定・民間委託		サービス向上 (顧客らしさ)
	施設		サービス		カード	理由	
	カード	理由	カード	理由			
カード	理由	理由	理由	理由	理由	理由	理由
1日誌							
2日誌					1,400	1,000	500
合計					1,400	1,000	1,200

5班（大船・玉縄地域）の再編提案



6班（大船・玉縄地域）の再編提案



5班 コンセプト『サービスの集約化』

再編の考え方
 施設サービスは要約化、代わりに空室稼働、バス、ITでネットワーク化

	削減		売却	利用料金改定・民間委託		サービス向上 (繰上り)
	カード	理由		カード	理由	
カード
理由
ポイント	1日目
ポイント	2日目	740 / 1,180	640 / 1,180	190		-200
合計			1,070	2,280 / 1,340 (1.8倍)		

6班 コンセプト『機能の集約、施設の分散、民営化』

再編の考え方
 ミニバスによる活約化

	削減		売却	利用料金改定・民間委託		サービス向上 (繰上り)
	カード	理由		カード	理由	
カード
理由
ポイント	1日目
ポイント	2日目	640 / 1,180	70	12,140	480	-300
合計			910	12,210	1,510	



検討の様子



発表の様子

③ 削減ポイント

1班、3班、5班の組合せと、2班、4班、6班の組合せによる3地域合計（市域全体）の削減ポイントは、両案ともに削減目標の50%を達成しました。

	1班・3班・5班	2班・4班・6班	削減目標
削減ポイント	4,990	5,100	—
削減率	50%	51%	50%

(5) 講評

鎌倉市公共施設再編計画策定委員会委員である増井玲子氏から次のような講評をいただきました。

- ・ 公共サービスを低下させないことをきちんと考えられていた。その上で削減目標である50%を達成した提案となったことが素晴らしい。
- ・ 提案内容には懸念されることについて対応策まで検討されていた点が、とても良かった。
- ・ 地域のことを一番ご存知なのは、やはり住民の方々であることを改めて実感した。

(6) 参加者の感想

最後に、参加者から、以下のようなご意見やご感想をいただきました。

- ・ 鎌倉市がどんな町にしたいのかコンセプトを示すことが必要である
- ・ 削減目標を達成する提案を考えたが、守るべき施設についての議論も必要である
- ・ シミュレーションにより参加者のコミュニケーションが図られた
- ・ 20年後の鎌倉が見えなかったため、10年後くらいの設定がよい
- ・ 開催日程が厳しく、施設の情報も不足していた
- ・ 子育て世代の意見が重要であり、参加しやすい環境づくりが必要である

3. 意見の整理

(1) サービスと施設について考える

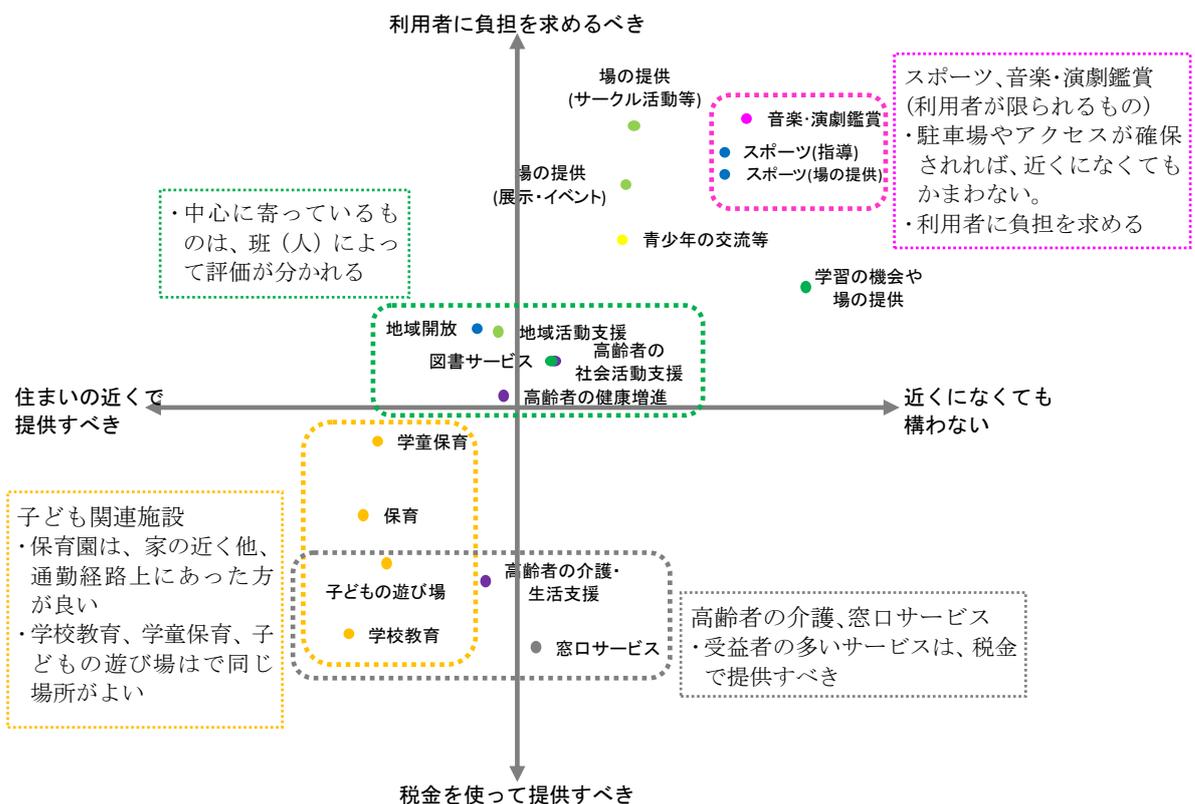
① 検討方法

サービスの提供場所と費用負担の2つの評価軸について、議論された内容からおよその位置を数値化し、各班の特徴とサービスに対する評価の傾向を整理しました。



図 サービスの評価の数値化の目安

② サービスの提供場所と費用負担の評価の傾向 (6つの班の平均)



【サービスの提供場所】

凡例



※斜線の部分は、検討ができなかった項目

サービス		場所					
		1班	2班	3班	4班	5班	6班
回答のばらつきが小さい	保育	1.0	1.0	3.0	1.0	3.0	4.0
	学校教育	1.0	5.5	3.0	1.0	1.0	1.0
	学童保育	1.0	6.0	3.0	1.0	1.0	1.0
回答のばらつきが大きい	子どもの遊び場	5.0	1.0	3.0	1.0	1.0	1.0
	学校で行っている地域開放 (サークル活動等の場の提供)	1.0	7.0	1.0	1.0	1.0	2.5
	青少年の交流と活動の場	1.0	2.5	3.0	2.0	1.0	3.0
	高齢者の健康増進	7.0	1.0	6.0	2.0	1.0	3.0
	高齢者の社会活動支援	3.0	1.0	6.0	2.0	1.0	6.5
	高齢者の介護、生活支援等	5.0	1.0	6.0	2.0	1.0	1.0
	サークル活動の場の提供	1.0	2.5	3.0	1.0	3.0	7.5
	図書サービス (資料収集及び提供)	6.0	3.5	1.0	1.0	1.0	3.5
	学習の機会や場所の提供	1.0	7.0	3.0	1.0	1.0	6.5
	音楽・演劇等の鑑賞	7.0	6.0	1.0	1.0	1.0	4.0
回答のばらつきが小さい	展示・イベント等の場の提供	7.0	2.0	1.0	1.0	1.0	6.5
	スポーツ(場の提供)	7.0	6.0	1.0	4.0	1.0	3.0
	スポーツ(指導)	7.0	6.0	1.0	4.0	1.0	3.0
	地域活動支援	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	6.5
窓口サービス	4.0	4.0	6.0	4.5	4.0	2.0	

家からの距離の他、送り迎えの経路による(駅の近くや、家と駅の間など)

同じ場所が良いという班が多い

災害時に避難拠点となる場所

健康な高齢者に対する考え方(手厚くする必要はない、身近にあった方が良い等)で、違いがある

徒歩で利用できない人が多い、送迎等サポートがあれば、遠くてもよい

取り寄せが近くでできれば

駅近、駐車場、巡回バス等があれば、遠くても良い

小さい体育館は近くが良い
大きい体育館は遠くても車で行く

スポーツは駐車場やアクセスが確保できれば、遠くても良い

駅近、ついでに寄れる所、コンビニ、他施設内に併設

本庁舎でしかできない手続きがあり支所を利用してない、手続きをあまり利用していない等

【サービスの費用負担】

凡例

税金を使って提供すべき ←  → 利用者に負担をもとめるべき

※斜線の部分は、検討ができなかった項目

サービス		費用負担					
		1班	2班	3班	4班	5班	6班
回答のばらつきが小さい	保育	2.5	3.0	2.0	2.5	4.0	2.5
	学校教育	1.0	斜線	2.0	1.0	2.0	1.0
	学童保育	2.5	6.0	2.0	2.5	4.5	4.0
	子どもの遊び場	2.0	2.0	2.0	1.0	斜線	4.0
回答のばらつきが大きい※	学校で行っている地域開放 (サークル活動等の場の提供)	斜線	斜線	5.0	1.0	6.0	7.5
	青少年の交流と活動の場	3.0	斜線	4.5	斜線	斜線	斜線
	高齢者の健康増進	5.0	2.0	4.0	2.5	斜線	3.0
回答のばらつきが小さい	高齢者の社会活動支援	2.0	2.0	3.0	2.5	斜線	3.0
	高齢者の介護、生活支援等	2.0	2.0	1.0	2.5	斜線	2.0
回答のばらつきが大きい※	サークル活動の場の提供	斜線	斜線	6.0	6.5	斜線	7.0
	図書サービス (資料収集及び提供)	4.0	7.0	斜線	2.5	斜線	4.5
	学習の機会や場所の提供	斜線	斜線	4.0	6.0	斜線	2.0
回答のばらつきが小さい	音楽・演劇等の鑑賞	7.0	斜線	斜線	6.0	斜線	7.0
	展示・イベント等の場の提供	7.0	斜線	斜線	4.5	斜線	7.0
	スポーツ(場の提供)	7.0	6.0	斜線	6.5	斜線	7.0
	スポーツ(指導)	7.0	6.0	斜線	6.5	斜線	6.0
	地域活動支援	斜線	斜線	5.0	4.5	斜線	5.0
	窓口サービス	2.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0

子ども関連サービスは税金を使って提供すべき

親がある程度負担するべきでは。施設は市負担、サービスは受益者負担。

もっとNPOやボランティアを募るべき(人を使うシステムをつくるべき)

個人で行うもので、公共が提供する必要はない

受益者が多いため公共サービスで提供すべき、

鑑賞、イベント、スポーツは利用する人・しない人がいるため、利用者が負担料金設定を細かく(市内・市外の利用者で料金を分ける)

※交流、健康増進、学習の機会や場所の提供など、比較的身近で提供されるものは、評価が分かれる

(2) 再編シミュレーション

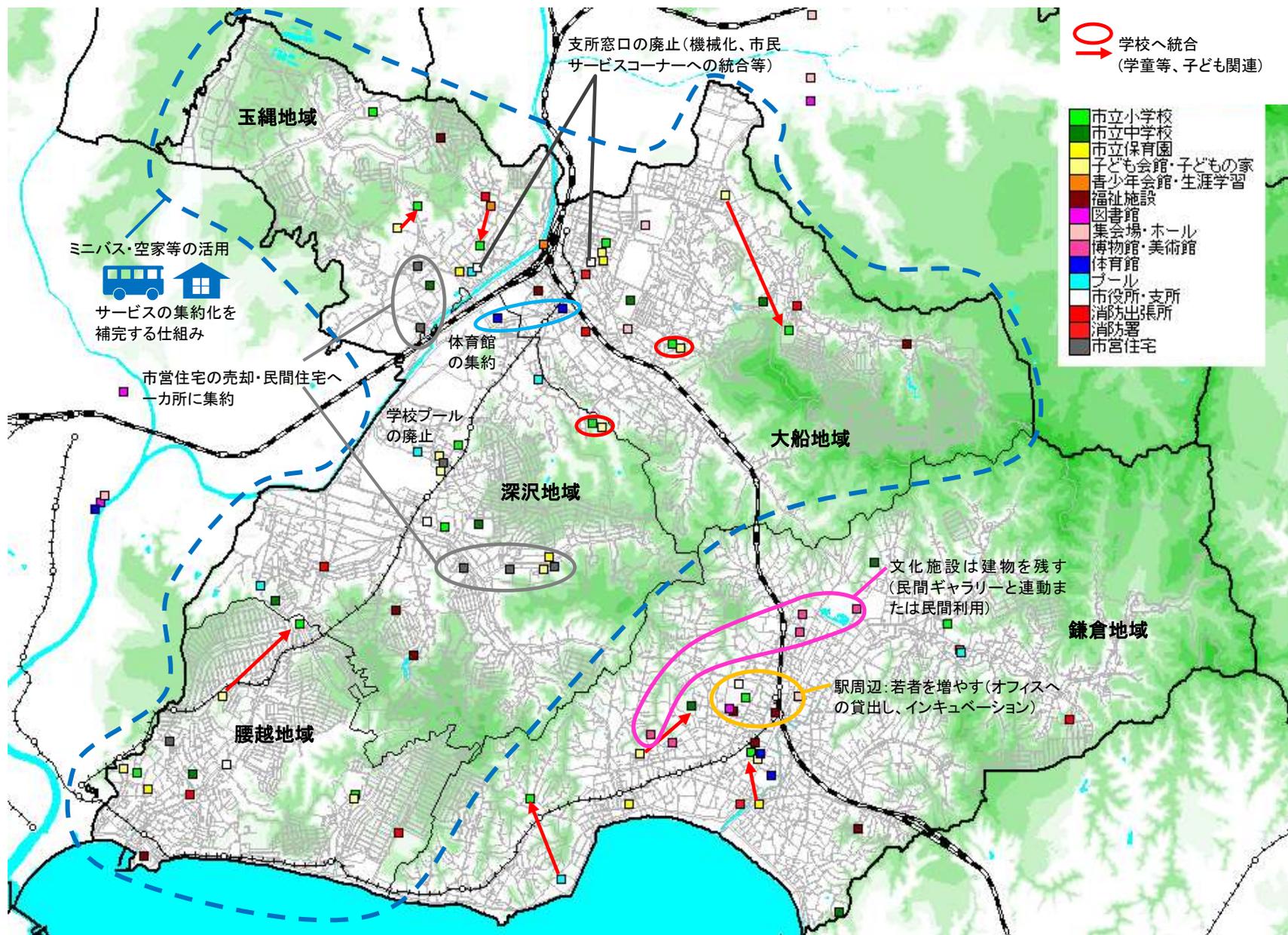
「サービスと施設について考える」で議論された内容と同様に、学校に子ども関連施設等を複合化することや、利用者が限定されるようなもの(例えばスポーツ)については、集約化の方向で提案がされている。

サービスの集約の提案と併せ、施設が減ることを補完する策として、ミニバスや空家の活用を提案された班が複数あった。

また、地域の特徴として、鎌倉地域に文化施設が集まっているため、建物は残しつつ、運営を民間委託とする内容や、若者を集めるための方法として、駅近くで公共施設をオフィスを転用する等のアイデアが出されている。

サービス別の再編アイデア（各班の個人の意見を含みます）

地域・班	鎌倉地域		腰越・深沢地域		大船・玉縄地域	
	1班	2班	3班	4班	5班	6班
学校	・保育・子ども関連、福祉関連を複合化(高齢者と子どもは同一施設で活動した方が効果的)	・子育て、学習、消防を複合化	・学校プールの廃止(利用率が低い) ・子ども関連をまとめる	・小中学校の運営を民間委託 ・体育館の地域開放	・学校開放 ・プールの廃止	・教育機能の集約
保育	・学校に複合化	・福祉施設へ複合(多世代交流)	・学校に複合化		・民間委託、小中学校に複合化	
学童保育	・学校に複合化	・学校に複合化	・学校に複合化	学校に複合化	・学校に複合化	・学校に複合化
子どもの遊び場	・学校に複合化	・民間委託	・学校に複合化	空家を利用(機能を点在)	・廃止(学校開放ができれば不要、公園・校庭に)	・学校に複合化
高齢者福祉(健康増進等)	・学校に複合化		・民間委託(設備・サービスの向上)	統合し、プールに複合化	・空家の活用	
福祉(介護、障害者支援等)	・統合、民間委託	・民間委託	・民間委託(料金の補助を行う)	・民間施設の活用(民間の福祉施設もある)	・民間委託、空家の活用(交流施設は対象を限定しない)	・民間委託
図書	・駅近くから他の建物へ	・学校に分散。駅前に貸出窓口設置	・学校に複合化	・維持(移動反対。利用者がいる。)		・学校に複合化
生涯学習	・統合(趣味、学習を一緒にする)		・学校に複合化			・統合
スポーツ	・市営プールの廃止 ・体育館の民間委託	・学習センターに複合化	・民間委託		・武道館に集約(ある程度狭い部屋が多い方が使いやすい)	・武道館に集約
文化施設	・維持(残しておきたい。民営ギャラリーと連携)	・建物は残し、収益施設として民間利用			・美術館の利用拡大・多目的ホールに転用	
市営住宅			・1箇所を集約	・民間住宅の利用(家賃の補填で対応)	・民間委託	・売却か民間委託
本庁・支所機能		・民間テナントビルに分散(窓口を民間対応)	・1支所を廃止	・維持	・窓口の廃止(市民サービスコーナーに統合)	
消防		・学校に複合化			・複合化	
追加・拡充したい機能 その他	・オフィスが少ないため、駅に近い公共施設をオフィスとして貸し出す	・インキュベーション(若者を集める) ・高齢者サービスの拡大	・保育の拡充(若い人が住みやすく) ・100円バス(遠い施設を利用できる)	・地域包括ケアセンター ・集会所5箇所(多目的施設を分散)	・美術館の多目的サービス(自分で行う芸術活動の時代→学習センター) ・保育の拡充	・子ども達の総合施設(外で遊べる場) ・高齢者のための施設 ・ミニバスの活用



4. 参加者アンケートの集計結果（平成26年6月28日ご出席の29名の方の回答）

① 市民ワークショップへの参加の動機

1 市の広報やホームページなどを見て、以前から公共施設の再編に興味があったから	9人 (33%)
2 市民ワークショップの案内チラシを見て興味を持ったから	10人 (37%)
3 その他	8人 (30%)

無回答 2人

② 市民ワークショップの内容

6/21	「公共施設再編の取組状況の報告」は理解できましたか				【主なコメント】
はい 4	← 3	→ 2	いいえ 1		<ul style="list-style-type: none"> 理解できたが、多くの市民にもっと知らせてほしいと思った。 鎌倉市として10年後、20年後に向けてのビジョン等が見えないので、一般論しかわからなかった。
13人 (45%)	7人 (24%)	3人 (10%)	5人 (17%)		
6/21	「発想転換の公共施設再編」(南学氏)は理解できましたか				【主なコメント】
はい 4	← 3	→ 2	いいえ 1		<ul style="list-style-type: none"> 全く違う地域の事例の写真を交えて非常に参考になった。 新しく効率的な考え方でした。 長所と短所と両方を知りたかった。 再編、削減、効率化が主でしたが、行政サービスの質の再編もあってほしい。
14人 (48%)	7人 (24%)	5人 (17%)	3人 (11%)		
6/21	ワークショップ(公共サービスの評価)の内容は理解できましたか				【主なコメント】
はい 4	← 3	→ 2	いいえ 1		<ul style="list-style-type: none"> 施設とサービス・機能を分離するという考え方をよく理解できたとともに、重要性の認識を深めることができました。 グループ討議の時間がもっとあるとよい。役割で考えるというのは良かった。 サービス、施設の内容がよく分からない。
14人 (48%)	8人 (28%)	5人 (17%)	2人 (7%)		
6/21 6/28	ワークショップ(公共施設再編シミュレーション)の内容は理解できましたか				【主なコメント】
はい 4	← 3	→ 2	いいえ 1		<ul style="list-style-type: none"> ゲーム感覚で一つ一つの施設の果たしている役割と現状の深い理解もなく、簡単に切り捨てられていた。 内容は理解できたのですが、その目的やこのことをどのように鎌倉市が活用していくのかが、よく伝わってこなかったです。
13人 (45%)	9人 (31%)	5人 (17%)	2人 (7%)		
全体	ワークショップに参加して良かったですか				【理由】
はい 4	← 3	→ 2	いいえ 1		<ul style="list-style-type: none"> 大変勉強になった。いろいろな市民の考えを知ることができた。こういう機会を是非また設けてほしい。 問題をシンプルにするシミュレーションのフレーム、進め方、参加者のモチベーション、効率のいい議論の進行とともに、バランスよく充実感のあるワークショップでした。
16人 (55%)	6人 (21%)	3人 (10%)	4人 (14%)		
全体	ワークショップに参加して公共施設に対する認識は変わりましたか				【変わった点】
はい 4	← 3	→ 2	いいえ 1		<ul style="list-style-type: none"> 施設は、ただそこにあればよいと単純に考えていたが、そこに存在させることの難しい側面がいくつもあると分かった。 再編の必要性は認識していましたが、市民同士の実感を伴った意見で各施設の必要性、優先度等自分ない視点での認識を持てた。
13人 (45%)	5人 (17%)	3人 (10%)	8人 (28%)		

③ 自由意見について（再編手法に関するものを抜粋）

【再編手法について】

- ・ IT 関連が足りなかった印象を持ちました。
- ・ 公共施設の利用率をもっと上げることを考えたい。（利用率が低いから収支が合わない）
- ・ 守るべき施設、民営化はできない施設、再編できない施設。まずそこをしっかりと定めるべきだと思った。その上で、再編できる施設は再編する必要がある。
- ・ 民間の力を用いることも良いが、市民力で市民との協働を是非再編に活かしていただきたい。
- ・ 古い建物を壊すのは簡単だが、歴史的施設は何とか残してほしい。
- ・ 農のセンターとして、地産地消の生産拠点化
- ・ メガソーラーの導入
- ・ 緑あふれる住環境への再開発など
- ・ 行政窓口サービスについて、例えば IT サービスを利用した 24 時間電子市役所的な「サービス」についての検討がほしい。
- ・ 小学校の統廃合はしないという事でしたが、根本的な対策としての検討は必要かと思います。例えば、稲村ガ崎小学校と七里ガ浜小学校を統合して、七里ガ浜小学校に集約し、稲村ガ崎小学校の児童は「スクールバス」で七里ガ浜小学校に運べば稲村ガ崎小学校を高齢者向け施設として再利用できると思います。札幌の資生館小学校の例を用い、今後の学校の集約化を検討してみてください。
- ・ 県の施設や市の施設の活用を各班の中に活かしてもよかったと考える。
- ・ 今回のメインテーマは、箱物のリニューアルコストの削減だった為、売却・集約等の手段が多かった中で、民間委託も提案された。
- ・ 民間委託、即利用料金アップではならないと思う。利用料金アップは、箱物が遠くなってしまうことに対する”がまん”で済むのに比べ、市民の活動を阻害する度合いがはるかに大きい。
- ・ 寄付された建物は指定管理で経費を掛けるだけでなく、賃貸して収益をあげる方法を考えるのも一つの形だと思った。
- ・ 施設再編の前に、市内の交通渋滞を先に計画してほしい。商業車の乗り入れはよいが、観光客や市民の乗り入れは正月に規制してほしい。それでなければ、施設再編を実行し、他に移転、統合しても活かされない。
- ・ 今後、お金をかけないで、公共施設に赤ちゃんからお年寄りまで多くの市民が集えるようにするために、施設を大切に管理運営していく力を持つ市民が市内に大勢いるので市民に愛される小さな施設を点在させること、大型複合施設で民間が儲かるのではない、それこそ発想の転換をして頂きたいと思います。
- ・ サービスや再編による運営は、地元の事業者、NPO など民間の知識やアイデアを公募し、OPEN な審査のもとに委託すべき。
- ・ 旧鎌地区の担当で、班としてはドラスティックなプランを提案しましたが、他班の発表も各地区それぞれの事情と課題を十分にふまえていて非常に示唆に富んでいました。
- ・ 特に大船、玉縄地区は住宅地の過疎化、高齢化の課題とともに農地を含めた広大な土地のポテンシャルを有効活用することができるし、旧鎌ではできない先進的な地域経営、地域経済モデルを実現できるのではという大きな可能性を感じました。
- ・ 行政サービスのあり方は不変ではないので、利便性を高めてほしい。江東区役所では夜 8 時まで開庁していたり、土日も開庁しています。世の中が 24 時間化しているのに、行政は旧態のままではないか？利便性が高まれば、市役所ではなくて近くのコンビニでまかなえるのという話になるのでは？このような市のあり方を説明してほしい。
- ・ 存続の危機に面する市民団体も出る可能性すらあると思う。利用する団体毎の実態に合わせたキメ細かい行政サービスを考えて欲しいと思いました。
- ・ 岩瀬在住ですが、鎌倉都民にならない為にも道路行政をしっかりとやれば、なくなる様に思う。トンネルの充実(新設)で交通が良くなると考えます。
- ・ 建物の寿命を築年数で判断してほしい。建築史的な見解もあるし、住民としての思いも建物に込められていることを理解した上で、各施設の活用が歴史文化都市鎌倉には必要であると思います。

※この他、ワークショップの参加者募集について（日程の設定や年齢層が高すぎる等）、ワークショップの進め方（将来ビジョンを示した上で検討すべき、コンサルタントにまかせるのは良くない等）、検討の前提（20 年後ではなく、近い将来で検討すべき等）のご意見がありました。